



進路だより第4号

令和8年6月5日

川口市立戸塚中学校

第47期 第3学年

令和9年度入試「選抜実施内容」が決まりました

— 共通選抜・特色選抜のしくみと「学年間比率」をやさしく解説します —

令和8年5月29日、各高校の「選抜実施内容（確定版）」が公表され、令和9年度入試のしくみが正式に決まりました。各校の詳しい内容は、右のQRコード（埼玉県教育委員会のページ）からご確認ください。

→ 詳しくはこちら（埼玉県教育委員会・選抜実施内容（確定版））



埼玉県教育委員会

今回あわせて確定したこと（これまでお伝えした内容の確定です）

- ・ 面接は、受検生全員に実施することが確定しました。
- ・ 学力検査は、約9割の問題でマークシート方式になることが確定しました。

共通選抜と特色選抜は、何が違うの？

令和9年度入試では、選抜の方法が「共通選抜」と「特色選抜」の2つになりました。どちらも学力検査・調査書・面接を使う点は同じですが、「ものさし（点数の付け方）」の自由度が違います。

項目	共通選抜	特色選抜
どんな方法？	全県共通のものさしで選ぶ	学校の特色に合わせたものさしで選ぶ
学年間比率	1：1：1／1：1：2／ 1：1：3 の3つから選択	各校が自由に設定 (例：川口東は1：2：3)
傾斜配点 (得意教科を重く)	なし	あり(最大3教科・ 150点または200点)
特色検査 (実技・作文)	なし	実施する学校がある

※ 共通選抜だけ・特色選抜だけ・両方を行う、のどれにするかは各高校が決めます。

「学年間比率」を、やさしく説明します

調査書には、9教科×5段階評価（45点満点）の成績が、1年・2年・3年の3年分あります。この3年分を「1年：2年：3年」のどの重みで合計するかを決めたものが「学年間比率」です。数字が大きい学年ほど、その年の成績が重く扱われます。

◆ 1：1：1＝均等（135点） ／ 1：1：2＝3年厚め（180点）

◆ 1：1：3＝3年重視（225点） ／ 1：2：3＝学年順に重く（270点・特色の例）

共通選抜ではこの比率は上の3つから選びます。特色選抜では各校が自由に決めます（合計が10を超えない範囲）。

たとえば1：1：3の学校は、3年生の成績が1年生の3倍重く効きます。逆に1：1：1なら3年間が同じ重さです。志望校の比率を見れば、「1年生からの成績がどれくらい合否に響くか」が分かります。

ご家庭へのお願い

志望校の「選抜の種類」（共通選抜のみ／特色選抜のみ／両方）と「学年間比率」を、QRコードのページで一度ご確認ください。

学年間比率で2年生・3年生の数字が大きい学校ほど、これからの成績が合否に大きく関わります。

今の授業や定期テスト、提出物を一つひとつ大切にしていきましょう。

【出典】埼玉県教育委員会「令和9年度埼玉県公立高等学校入学選抜における各高等学校の選抜実施内容（確定版）」「概要一覧表の見方」「入学選抜実施基本方針」（令和8年5月29日公表）をもとに作成。最新・詳細はQRコードのページ（埼玉県教育委員会）で確認ください。

ここからは6校の確定版を、タイプ別に2校ずつ読んでみましょう。同じ「学力検査・調査書・面接」でも、学校によって配点や学年間比率が大きく違います。最後に6校を一覧で比べます。

「第1次選抜」「第2次選抜」は、試験を2回受けるという意味ではありません

・ 入試（学力検査・面接）は、1日・1回だけです。受検する試験が2回あるわけではありません。

・ その1回の結果を、まず「第1次選抜」の基準で可否を判定し、そこで合格にならなかった人を、続けて「第2次選抜」の別の基準でもう一度判定します。

・ つまり「1回の試験を、2つの基準で順番に審査する」しくみです。だから学校によって、第1次と第2次で配点（調査書の重みなど）が変わります。

① 共通選抜のみ ― 県立川口北高校（普通科）

【確定版】令和9年度埼玉県公立高等学校入学者選抜実施内容（共通）

全日制	埼玉県立川口北高等学校	普通科								
目指す学校像	文武両道の精神のもと、高い志と品格を備えた未来を拓く（グローバル）リーダーを育成する学校									
入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）	・文武両道の精神を自覚し、実践しようとする生徒 ・高い志を立て、その実現に向けて常に努力しようとする生徒 ・品格を身に付けるため、凡事徹底を実現することができる生徒 ・多様性を認め、他人と協働しようとする生徒									
募集学科等	普通科	①第1次	70%	②第2次	30%					
選抜の種類	共通選抜（第1次選抜）			共通選抜（第2次選抜）						
学力検査	国語・社会・数学・理科・英語の5教科 数学と英語は、学校選択問題を実施する									
調査書	学年間の比率	1年	2年	3年	基本点	学年間の比率	1年	2年	3年	基本点
		1	1	2	180		1	1	2	180
面接	実施方法	集団面接								
	自己評価資料	「文武両道の精神を自覚し、実践しようとする生徒」について、これまでの自分の体験や実績を振り返り、努力したこと、本校入学後学校生活の目標に限り込んでみたいことなどについて、他のアドミッション・ポリシーも読みながら、自分の考えを書いてください。								
	評価の観点	文武両道の精神を自覚し、実践しようとする力								
評価規準	これまでの自分の活動を振り返り、本校が掲げるアドミッション・ポリシーについて自身の考えを述べ、具体的に主体的に実践し続ける意欲や姿勢を持っているか。									
	選抜資料配点	学力検査	調査書	面接	合計	学力検査	調査書	面接	合計	
	500	300	30	830	500	200	30	730		
第2志望	なし									
その他	なし									

ここを見る

① 選抜の種類

「共通選抜」だけ。第1次選抜と第2次選抜の2段階。

② 募集の割合

第1次選抜で70%、第2次選抜で残り30%。

③ 学力検査

5教科。数学と英語は応用的な「学校選択問題」を使う。

④ 学年間比率

1：1：2。3年生の成績が1・2年より重い（基本点180点）。

⑤ 面接

集団面接。

⑥ 選抜資料の配点

第1次〔学力500・調査書300・面接30＝830点〕／第2次〔調査書が200に下がり730点〕。

▶ ポイント

当日の学力検査（500点）が大きいのが、調査書（内申）も300点で効く。特に3年生が大事。

② 共通選抜のみ ― 県立川口高校（普通科）

【確定版】令和9年度埼玉県公立高等学校入学者選抜実施内容（共通）

全日制	埼玉県立川口高等学校	普通科								
目指す学校像	生徒の可能性を追求し、進路を実現する力と人間力を高める学校									
入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）	1 学習意欲が高く、具体的な目的意識を持って上級学校への進学を考えている生徒 2 文化・芸術・体育的活動分野で、優れた適正・能力や実績を持つ生徒 3 生徒会活動や学校活動などの分野で実績があり、リーダーシップを発揮できる生徒 4 ボランティア活動等の体験を生かし、これからは地域社会や国際社会に貢献しようという意識と行動力を持つ生徒									
募集学科等	普通科	①第1次	80%	②第2次	20%					
選抜の種類	共通選抜（第1次選抜）			共通選抜（第2次選抜）						
学力検査	国語・社会・数学・理科・英語の5教科 学校選択問題を実施しない									
調査書	学年間の比率	1年	2年	3年	基本点	学年間の比率	1年	2年	3年	基本点
		1	1	2	180		1	1	2	180
面接	実施方法	集団面接								
	自己評価資料	生徒会活動、学級活動、学校行事、部活動などの校内活動やクラブチーム、資格試験、趣味などについて自分が積極的に取り組んできたこと、入学後に取り組みたいことなどについて書いてください。								
	評価の観点	目標に向かい、挑戦する力								
評価規準	生徒会活動、学級活動、学校行事、部活動などの校内活動やクラブチーム、資格試験、趣味などについて自分が積極的に取り組んできたこと、入学後に取り組みたいことなどの意欲や態度、努力の過程が評価できるか。									
	選抜資料配点	学力検査	調査書	面接	合計	学力検査	調査書	面接	合計	
	500	200	60	760	500	400	60	960		
第2志望	なし									
その他	なし									

ここを見る

① 選抜の種類

「共通選抜」だけ。第1次選抜（80%）→第2次選抜（20%）。

② 学力検査

5教科。学校選択問題は使わない（共通の問題）。

③ 学年間比率

1：1：2。3年生の成績が重い（基本点180点）。

④ 面接

集団面接。

⑤ 選抜資料の配点

第1次〔学力500・調査書200・面接60＝760点〕／第2次〔学力500・調査書400・面接60＝960点〕。

▶ ポイント

第2次選抜では調査書（内申）が200→400に増え、内申がより重くなる。

③ 特色選抜のみ ― 県立川口東高校（普通科）

【確定版】令和9年度埼玉県公立高等学校入学者選抜実施内容（特色）													
全日制		埼玉県立川口東高等学校				普通科							
目指す学校像		生徒一人一人が主体的・対話的で深い学びを実感でき、全教職員が地域と協働し生徒の「より良く生きる力」を育む学校											
入学者の受け入れに関する方針 （アドミッション・ポリシー）		・中学校卒業相当の知識・技能に基づいて、自ら思考し、判断し、表現する能力を有する者 ・本校の特色を理解して高校における学びを追求し、卒業後に様々な分野で社会に貢献しよと志する意欲を有する者											
募集学科等		普通科				①第1次		80%					
						②第2次		20%					
選抜の種類		特色選抜（第1次選抜）				特色選抜（第2次選抜）							
学力検査		国語・社会・数学・理科・英語の5教科				国語・社会・数学・理科・英語の5教科							
		学校選択問題は実施しない											
調査書		学年間の比率		1年	2年	3年	基本点	学年間の比率		1年	2年	3年	基本点
		1 : 2 : 3		270	1 : 2 : 3		270	1 : 2 : 3		270			
面接		実施方法		集団面接									
		自己評価資料 学校独自項目		設定なし									
		評価の観点		設定なし									
		評価規準		設定なし									
特色検査 ※実施する場合のみ		実施内容		実施しない									
		評価の観点											
選抜資料配点		学力検査	調査書	面接	特色検査	合計	学力検査	調査書	面接	特色検査	合計		
		500	500	30	0	1030	500	345	45	0	890		
第2志望		なし											
その他		外国人特別選抜を実施する											

ここを見る

① 選抜の種類

「特色選抜」だけ。第1次選抜（80%）→第2次選抜（20%）。

② 学力検査

5教科。学校選択問題は使わない（共通の問題）。

③ 学年間比率

1：2：3。学年が上がるほど重く、3年生が最も大事（基本点270点）。

④ 面接

集団面接。

⑤ 特色検査

実施しない。

⑥ 選抜資料の配点

第1次〔学力500・調査書500・面接30＝1030点〕／第2次〔学力500・調査書345・面接45＝890点〕。

▶ ポイント

調査書（内申）が学力検査と同じ500点でとても重い。3年生の成績が合否に大きく関わる。

④ 特色選抜のみ ― 県立大宮高校（理数科）

【確定版】令和9年度埼玉県公立高等学校入学者選抜実施内容（特色）

全日制	埼玉県立大宮高等学校					理数科				
目指す学校像	勉強と部活動等の両立の実践と自主自律の精神の涵養により、高い志と強い使命感を持った未来を創るトップリーダーを育てる学校									
入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	高い志を持って学業をはじめ何事にも真摯に全力で取り組むことのできる生徒									
募集学科等	理数科					①第1次	60%			
						②第2次	40%			
選抜の種類	特色選抜（第1次選抜）					特色選抜（第2次選抜）				
学力検査	国語・社会・数学・理科・英語の5教科					国語・社会・数学・理科・英語の5教科				
	数学 (200点)	理科 (200点)	で傾斜配点を実施			数学 (200点)	理科 (200点)	で傾斜配点を実施		
	数学と英語は、学校選択問題を実施する									
調査書	学年間の比率	1年	2年	3年	基本点	学年間の比率	1年	2年	3年	基本点
		1	1	2	180		1	1	2	180
面接	実施方法	集団面接								
	自己評価資料 学校独自項目	これまでの学習や活動の中で、理科や数学に関して特に関心を持ち、主体的に取り組んだ体験について書いてください。								
	評価の観点	自然科学的・数学的な探究を深める力								
	評価規準	理数分野に強い関心を持ち、これまでの学習や活動を振り返りながら、未知の課題にも主体的に取り組め、その学びをさらに深めようとしているか。								
特色検査 ※実施する場合のみ	実施内容	実施しない								
選抜資料 配点	評価の観点									
	学力検査	調査書	面接	特色検査	合計	学力検査	調査書	面接	特色検査	合計
	700	420	30	0	1150	700	280	30	0	1010
第2志望	普通科と理数科の間に、相互に第2志望を認める									
その他	なし									

ここを見る

① 選抜の種類

「特色選抜」だけ。第1次選抜（60%）→第2次選抜（40%）。

② 学力検査

5教科。数学と英語は「学校選択問題」を使い、さらに数学・理科を傾斜配点（各200点）。学力検査は700点満点。

③ 学年間比率

1：1：2（基本点180点）。

④ 面接

集団面接。

⑤ 特色検査

実施しない。

⑥ 選抜資料の配点

第1次〔学力700・調査書420・面接30＝1150点〕／第2次〔学力700・調査書280・面接30＝1010点〕。

▶ ポイント

得意な数学・理科が傾斜配点（各200点）で有利になる学校。学校選択問題も使う。

⑤ 共通・特色の両方 ― 県立浦和東高校（普通科）

【確定版】 令和9年度埼玉県公立高等学校入学選抜実施内容（特色・共通）										
全日制	埼玉県立浦和東高等学校					普通科				
目指す学校像	確かな学力と豊かな人間性を育み、生涯一生涯の学びの探究に資する学校を育てる学校									
入学希望者の入りに関する方針	学力に関心に加え、かつ学力以外の個性や実用する意欲を重視している。 ①普通科に共通して3年間の成績について評価し、学力以外の個性や実用する意欲を重視している。 ②普通科に共通して3年間の成績について評価し、学力以外の個性や実用する意欲を重視している。									
募集学科等	普通科					出特色	60%			
						共通選抜	40%			
選抜の種類	特色選抜					共通選抜				
学力検査	国語・社会・数学・理科・英語の5教科					国語・社会・数学・理科・英語の5教科				
	学校選択問題を実施しない									
調査書	学年間の比率	1年	2年	3年	基本点	学年間の比率	1年	2年	3年	基本点
		1	1	3	225		1	1	3	225
面接	実施方法	個人面接								
	評価の観点	学力以外の個性・意欲・価値観の探求、自分探し・仲間意識の育成、自己肯定感・自己表現力の向上を支援し、アカデミック・ポリシーに基づいて、よりよい社会貢献活動を目指す。								
	評価の観点	アカデミック・ポリシーに基づく共通・実用する力								
	評価の観点	非公式のアカデミック・ポリシーの理解を深め、自分の考えや経験・経験に基づいて、入学試験に際して、面接や面接中の質問に答えられる。								
特色検査	実施内容	実施しない								
	評価の観点									
選抜資料配点	学力検査	調査書	面接	特色検査	合計	学力検査	調査書	面接		合計
	500	300	360	0	1160	500	300	60		860
第2志望	なし									
その他	なし									

ここを見る

① 選抜の種類

「特色選抜」と「共通選抜」の両方。先に特色（60%）→共通（40%）。

② 学力検査

5教科。学校選択問題は使わない。

③ 学年間比率

どちらも1：1：3。3年生の成績が重い（基本点225点）。

④ 面接

個人面接。

⑤ 特色検査

実施しない。

⑥ 選抜資料の配点

〔特色〕学力500・調査書300・面接360＝1160点／〔共通〕学力500・調査書300・面接60＝860点。

▶ ポイント

同じ学校に2つのものさし。特に特色選抜は面接の配点（360点）がとても大きい。

⑥ 共通・特色の両方 ― さいたま市立浦和南高校（普通科）

【確定版】 令和9年度埼玉県公立高等学校入学選抜実施内容（特色・共通）										
全日制	さいたま市立浦和南高等学校					普通科				
目指す学校像	学力に加え、豊かな人間性、探究心、国際社会に貢献することを目指す人材を育て、社会に貢献できる人材を育てる学校									
入学希望者の入りに関する方針	県内各校の学力検査結果に基づき、学力上より多人数を希望する生徒を募集。 ※学力上の選抜、面接選抜に加え、選抜内容に特色を有する科目について学力検査科目を免除し、学力検査、面接検査に際しては選抜内容が異なる科目について学力検査科目を免除し、学力検査、面接検査に際しては選抜内容									

ここを見る

① 選抜の種類

「特色選抜」と「共通選抜」の両方。募集は特色20%・共通80%。

② 学力検査

5教科。数学と英語は「学校選択問題」を使う。

③ 学年間比率

どちらも1：1：2（基本点180点）。

④ 面接

個人面接。

⑤ 特色検査

実施しない。

⑥ 選抜資料の配点

〔特色〕学力500・調査書200・面接100＝800点／〔共通〕学力500・調査書300・面接30＝830点。

▶ ポイント

同じ両方型でも、募集は共通が80%（浦和東は特色60%で逆）。特色は面接が100点。

6校まとめ（タイプ別に比べてみよう）

学校	タイプ	学年間比率	配点（第1次の例）	読みどころ
川口北	共通のみ	1：1：2	学検500・調査書300・面接30＝830	共通の基本形（学校選択問題あり）
県立川口	共通のみ	1：1：2	学検500・調査書200・面接60＝760	第2次で調査書を重視（調査書を400に）
川口東	特色のみ	1：2：3	学検500・調査書500・面接30＝1030	調査書を極端に重視・3年重視
大宮（理数）	特色のみ	1：1：2	学検700・調査書420・面接30＝1150	数学・理科を傾斜配点（各200）＋学校選択問題
浦和東	両方	1：1：3	〔特色〕学検500・調査書300・面接360＝1160	両方型・特色は面接重視（募集は特色60%）
市立浦和南	両方	1：1：2	〔特色〕学検500・調査書200・面接100＝800	両方型でも共通が80%（浦和東と逆）